

MySQL 5.0.80 リリースノート（日本語翻訳）

機能の追加と変更:

- MD5 アルゴリズムは、Xfree 実装を使用するようになった ([Bug#42434](#))。

修正されたバグ:

- レプリケーション: [TIMESTAMP](#) カラムへの [INSERT DELAYED](#) が、同じカラムに対する DELAYED 未使用の挿入と同時に発行され、その挿入の後に適用された場合、[INSERT DELAYED](#) は、DELAYED 未使用の挿入によって生成されたものと同じタイムスタンプを使用してログに記録された ([Bug#41719](#))。
- [SUPER](#) 権限のないユーザがシステムスレッドを強制終了しようとする、サーバがクラッシュする可能性があった ([Bug#43748](#))。
- USE INDEX ヒントを使用すると、[EXPLAIN EXTENDED](#) がクラッシュする可能性があった ([Bug#43354](#))。
- 先行する SET sql_select_limit=0 ステートメントをクライアントが実行した後などに、現在のデータベース名を要求して空の結果が返されると、[mysql](#) がクラッシュした ([Bug#43254](#))。
- ソースディストリビューションには、`strings/CHARSET_INFO.txt` ファイルが含まれていなかった ([Bug#42937](#))。
- [mysqldump](#) には、`--ignore-table` オプションによって除外されたビューが含まれていた ([Bug#42635](#))。
- 不明なタイムゾーン指定を [CONVERT_TZ\(\)](#) に渡すと、メモリリークが発生した ([Bug#42502](#))。
- 3つ以上の引数を使用すると、[LEAST\(\)](#)、[GREATEST\(\)](#)、および [CASE](#) は Illegal mix of collations というエラーを不必要に返す可能性があった ([Bug#41627](#))。
- 行が内部バッファよりも長い場合は、[mysql](#) クライアントが入力を正しく解釈しない可能性があった ([Bug#41486](#))。
- [mysql](#) によって表示された help コマンド出力では、`¥c (clear)` コマンドの説明が誤解を招くような内容になっていた ([Bug#41268](#))。
- ソースカラム式がローカル変数を参照する場合、[NAME CONST\(\)](#) を使用すると、CREATE TABLE ... SELECT ステートメントで問題が発生する可能性がある。これらの参照を [NAME CONST\(\)](#) 式に変換すると、マスタサーバとスレーブサーバとで異なるカラム名や、長すぎて正しいカラム識別子にならない名前が生成されることがある。対処法として、ローカル変数を参照するカラムのエイリアスを入力する。

現在は、起こりうる問題を示す場合に警告が発行されるようになっている
([Bug#35383](#))。

- [SHOW PROCESSLIST](#) 出力の Time カラムには、負の値を使用できるようになった。以前の符号なしの Time カラムでは、負の値は大きな正の値として間違っ表示されていた。スレッドが [SET TIMESTAMP = value](#) を使用して時間を先に進めた場合や、スレーブで実行されているスレッドが、スレーブよりも時計が進んでいるマスタからのイベントを処理している場合は、負の値が発生する可能性がある
([Bug#22047](#))。
- FEDERATED テーブルを含む [mysqldump](#) ダンプファイルには FEDERATED テーブルのデータが入っていたため、このダンプファイルの復元は失敗した。現在は、テーブル定義だけがダンプされるようになっている（データが別の場所に置かれているため） ([Bug#21360](#))。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。